

## 共同印刷、越谷工場の再開発完了 印刷・物流機能を持つ新棟が竣工

共同印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:藤森康彰)が2016年12月より進めていた、越谷工場(埼玉県越谷市)の再開発工事が完了し、本日(3月28日)、新棟の竣工式を行いました。

越谷工場は1968年に金属印刷の工場として竣工しました。近年は、出版および一般商業印刷を行っていましたが、2016年に同事業を運営する子会社が合併したことに伴い、一部が遊休資産となっていました。そこで、国道4号線に隣接し、外環道(東京外かく環状道路)や首都高速道にも近いという都心への好アクセスを生かし、印刷に加え、当グループの物流拠点としての機能も整備するため、再開発工事を進めていました。

新棟は、出版物向けの印刷を行う工場スペースと、倉庫や荷捌きスペースを兼ね備えた物流スペースで構成されます。物流スペースには、大庇を設けて悪天時に配慮したほか、個人情報の取り扱いが可能な作業スペースなども設けました。

なお、物流スペースは、当グループの共同物流株式会社(代表取締役社長:新島貞次)の本社および首都圏物流センターとして、同社が事業運営を担います。



再開後の越谷工場



### 【越谷工場 新棟 概要】

建物名	: 共同印刷株式会社 越谷工場/共同物流株式会社
所在地	: 埼玉県越谷市七左町4-301
建築面積	: 10,572.54㎡ (3,198坪) ※延床面積18,410.59㎡ (5,569坪)
建物概要	: 鉄骨造2階建
用途	: 活版印刷工場、物流倉庫
竣工	: 2019年3月28日 (2017年6月1日着工)
設計・施工	: 株式会社フジタ
投資額	: 約36億円

※参考: 新棟に関する工事(建て替え・新築)は、印刷作業を並行して行うため、工期を2期に分けて実施しました。I期工事は、2016年12月~2017年5月に解体工事、2017年6月~2018年1月に新築工事を行い、II期工事は2018年5月~2018年6月に解体工事、2018年7月~2019年3月に新築工事を実施しました。